

奨励賞



設計担当者

平井 浩之

大成建設(株)、大阪府建築士会



平井



共同設計者

渡邊 智介

大成建設(株)
東京建築士会

宮本 育美

大成建設(株)
大阪府建築士会

美術館／大阪府大阪市都島区網島町

藤田美術館

構造 | 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造

階数 | 地上2階・地下1階

敷地面積 | 3,305.98㎡

建築面積 | 2,171.63㎡

延べ面積 | 4,214.36㎡

竣工年 | 令和2年



1



3



2



4



5

- 1 一枚の大きな羽を広げたような大屋根で行きかう人々を迎え入れる開かれた美術館
- 2 地域に開かれ誰もが自由に出入りでき、さまざまな文化芸術に触れあえる「土間」
- 3 既存木材を再利用した天井ルーバーはさまざまな機能を内包し、新しい展示ケースとともに美術品を守る
- 4 旧美術館の床や扉を再利用したギャラリーからは開放的な茶庭と公園を望む
- 5 四季模様を切り取る、生かし取りの鑑戸

写真…伊藤 彰・アイフォト



配置図

選評

旧藤田傳三郎の邸宅跡地にある私設美術館(藤田美術館)の建て替えプロジェクトである。国宝や重要文化財を所蔵展示する美術館ではあるが、建て替えにあたって、静的に閉じるのではなく、敷地境界の塀を撤去し、周辺と一体化した地域に開かれた美術館をめざしている。道路側は、公道からのアクセス向上と同時に、建物正面に大きな庇を設け、内部を自由に出入りできるエントランス用ラウンジ(「土間」と呼ん

でいる)兼茶店とその席とすることで、地域に開く効果をさらに高めている。後方は大阪市の都市公園「旧藤田邸跡公園」と一体化を図り、もとの邸宅の歴史を蘇らせるとともに公園から美術館へのアクセスも容易にしている。

展示空間は、長い漆喰塗の壁でエントランスホールと仕切られており、所蔵する展示品にあわせたさまざまな工夫ができる静かで落ち着いた場に仕上がっている。建具をはじめ館内

の随所に、建て替え前の美術館のパーツが取り込まれており、敷地内に以前からあった多宝塔もランドスケープとしてうまく取り入れられている。

敷地や建物が持つ旧来の歴史を尊重しつつ地域に開くことをめざし新たな姿を模索した私設美術館のプロジェクトとして高く評価でき、奨励賞にふさわしい作品といえる。(後藤 治)